

令和2年度事業計画（修正）

1 基本方針

平均寿命の延びにより人生 100 年時代を迎える中、長い第二の人生をいかに健康で豊かなものにしていくかが問われる一方、京都府社会では、人口減少・高齢化の進行により人手不足や地域の活力低下が大きな課題となっており、京都SKYセンターの果たすべき役割はますます増大している。

特に今年度は、センターが設立 30 周年の節目の年を迎えるにあたり「30 周年記念誌」を作成し、これまでの成果と課題を踏まえつつ、これからの人生 100 年時代においてセンターが果たすべき役割をしっかりと見据えながら、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを多面的に支援するとともに、地域社会への参画や課題解決への積極的な貢献を促すための取組を推進する。

このため、昨年度に引き続き、①府域全域での事業展開、②地域社会の課題解決への貢献、③多世代交流の促進の3つの視点を重視して施策を推進するとともに、30 周年記念事業のほか、個々の事業について 30 周年にふさわしい事業となるよう創意工夫を凝らしながら実施する。

なお、新型コロナウイルス感染症の発生により、昨年度来センターの事業についても中止や変更等の影響を受けており、今年度についても引き続き状況を注視しつつ、事業実施に当たっては安心安全を第一に機動的に運営していくこととする。

2 事業計画

（1）情報発信・啓発関連事業

①「全国健康福祉祭（ねんりんピック）参加者派遣事業」

令和2年 10 月 31 日（土）～11 月 3 日（火・祝）に岐阜県で開催される「第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会」に参加者を派遣し、健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図る。

併せて、参加者の経験を地域でのふれ合いと活力ある長寿社会づくりに活かすため、地域活動への積極的な参画を促す。

②「SKYふれあいフェスティバル 2020 開催事業」

高齢者等が日頃の活動の成果を発表し、さらなる活動へのインセンティブとするとともに、多様な世代が人生 100 年時代を体感し、ともに考える機会を提供する。

具体的には、高齢者の関心の高い健康チェック、リハビリ等のコーナー、高校生や

子どもたちとふれ合う多世代交流コーナー、舞台発表や文芸作品展、暮らしの情報コーナーなどソーシャルディスタンスを意識しつつ多彩なコーナーを設け、誰もが楽しめるフェスティバルとなるよう企画運営する。

- ・開催期間（予定） 令和2年9月19日（土）・20日（日）（2日間）
- ・開催場所（予定） 京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催規模の縮小や開催見送りにについても検討するものとする。

③「情報誌 SKY 発行事業」

高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり、さらには地域活動への参画のきっかけづくりに資するとともに、健やか、快適、豊かなシニアライフに役立つ京都府等の行政情報等も満載した情報誌を発行する。

- ・発行時期 隔月（奇数月）発行
- ・発行部数 5,100部
- ・配布先 会員、公的機関、提携施設等

（2）健康づくり・生きがいづくり・地域貢献関連事業

①「京都 SKY シニア大学開催事業」

高齢者の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりに資するとともに、地域社会の活性化を促す人材の養成と社会参加意識の醸成を図るため、シニア大学を開講する。

令和2年度は、平成30年度から進めている地域キャンパスを北部地域と南丹地域の2か所に設置するとともに、京都キャンパスについては、例年のコース設定に代え開講期間を短縮して「コロナに負けない！30周年特別編成カリキュラム」を運営し、令和3年度から予定するシニア大学5月開講に円滑につなげていくこととする。

- ・開講期間 半年間（10～3月）
- ・講座数 全28回
- ・募集定員 400名

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開講時期や講義内容について機動的に変更を行うことも視野に入れて準備を進めることとする。

②「人生 100 年シニアパワー結集事業」

イ「生涯現役社会推進事業」

地域の SKY 生きがづくり推進員、老人クラブ、NPO 等と連携しながら、高齢者が地域の担い手として活躍できるようにスキルアップ研修等を行うとともに、地域活動等とのマッチングを行い、高齢者の活躍を支援する。

具体的には、介護、障害者支援、農園芸、語学等のスキルを身に着けるためのセミナーを開催するとともに、受講者の組織化も行いながらボランティア活動等に勤しむ高齢者の活動をコーディネートする。

また、30 周年記念事業として、SKY シニア大学とも連携し、高齢者の社会参加を促す「活動団体見本市」のイベントを開催する。

ロ「SKY 地域活力創生事業」

人口減少・少子高齢化の進行により地域社会の過疎化・活力低下が喫緊の課題となっており、こうした課題解決の一助とするため、府内各地の生きがづくり推進員をはじめ、市町村、老人クラブ、各種団体等の協力を得ながら賑わい創出など地域活力の創生につながる多様なイベント・事業を推進する。

具体的には、生きがづくり推進員が主体的に企画・運営する事業や、おこしやす京都 100 巡りウォーク、シニアと高校生のコラボ事業等を実施する。

ハ「多世代交流促進事業」

主として高校生との交流を通じて高齢者の健康づくり・生きがづくりを促進するとともに、高等学校においては、改訂高等学校学習指導要領に盛り込まれた、新しい時代に求められる資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の具体化に資する。

具体的には、生徒、地域の高齢者、介護予防サポーター、NPO 関係者等が参画し、健康体操や脳トレ等の介護予防を行う「ねんりんサロン」を府立清明高校並びに府立峰山高校で実施するとともに、府立京都すばる高校と連携して多世代交流バス研修を行うほか、SKY ふれあいフェスティバルにおける高校生横丁の運営等を行う。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催規模の縮小や開催見送りについても検討するものとする。

③「元気な高齢者活躍推進事業」

イ「SKY 学活セミナー開催事業」

これまで以上に京都市以外の地域での開催に注力するため、新たに SKY 地域駐在員を指名し協力をいただくとともに、引き続き地域貢献活動に繋がるセミナー

(学びを活かす：学活セミナー)を重視という点にもポイントをおいて事業を実施する。

具体的には、シニアライフの充実に寄与する健康・暮らし・IT関連のセミナー、傾聴・手話・子育て・介護など社会貢献活動に繋がるセミナー等を積極的に開催する。

□「サラリーマン・シニア社会活動支援事業」

シニア世代を対象に「健康・生きがい・仲間づくり」の場を提供するため、サラリーマンOB・OGの方々等で構成するイベント企画運営委員会を設置し、高齢者の視点に立った多彩なイベントを企画・実施する。

具体的には、ウォーキング、歴史散策、社会見学などシニア世代に関心の高いイベントを実施し、引きこもり防止と社会参加の促進を図る。

(3) 相談・情報提供関連事業

①「高齢者総合相談事業」

高齢者やその家族等が抱える生活全般にわたる悩み事等の相談に対し、相談者の思いに寄り添って懇切・丁寧に対応する。生活・福祉等に関する一般相談に加え、法律(財産管理等)に関する専門相談にも対応する。

②「高齢者生活・福祉関連情報提供事業」

老人福祉施設等に関する情報提供、エンディングノートの販売・啓発、救急医療情報キットの提供、介護関連ビデオ/DVDの貸出し等を実施する。

(4) 会員関連事業

①「SKY サークル活動支援事業」

SKY センターの会員で結成されている文化系・スポーツ系のサークル・同好会活動に対し、ハード・ソフト両面から支援するとともに、サークル代表者でつくるサークルネットを通じて行われるサークル間の交流・連携を促し、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり活動を活発化する。

②「SKY センター法人会員相互交流等事業」

SKY センターの事業活動に賛同し、支援・協力をいただいている法人会員に感謝の意を伝えるとともに、会員同士の相互交流の機会を提供するため、法人会員の集いを開催する。

③「30周年記念会員感謝事業」

イ「SKY オリジナル会員缶バッジの作製」

現会員の皆様を対象に SKY 特製の会員缶バッジを無料でプレゼント

ロ「SKY 特製脳トレ問題集の作成」

府立京都すばる高校と連携し、認知症予防脳トレ集を作成・配布

ハ「アンコール青春指定席の開催」

会員から最も再演希望の多い青春指定席をアンコール開催

(5)「30周年記念事業」総括（再掲）

- ・30周年記念誌の作成
- ・活動団体見本市の開催
- ・SKY オリジナル会員缶バッジの作製
- ・SKY 特製脳トレ問題集の作成
- ・アンコール青春指定席の開催